

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
4	01	01	03
道の駅等都市交流拠点設置事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	01	03	05
道の駅等都市交流拠点設置事業			

実施計画整理番号	
401010301	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	圏央道を有効利用するために、インターチェンジ付近に「道の駅」を設置し、地域振興の拠点施設として地域の活性化を図る。	道の駅等都市交流拠点設置に向けて基本設計及び実施設計等を発注する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	道の駅等都市交流拠点設置検討委員会の設置要綱を制定し、検討委員会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・要綱の制定 ・委員会の開催

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	186	89	0	0	0	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	186	89	0	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	道の駅等都市交流拠点設置事業	0	186	89	要綱を制定し、委員会を開催し現地視察を実施した。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	186	89	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

茂原市「道の駅等投資交流拠点設置」検討委員会設置要綱を制定。
茂原市「道の駅等都市交流拠点設置検討委員会」を開催した。

D
O
(
実
施
)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	401010301
4	01	01	03	道の駅等都市交流拠点設置事業	7	01	03	05	道の駅等都市交流拠点設置事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況					30年度成果指標(アウトカム)の達成状況					
	委員会の設置要綱を制定し、検討委員会を1回開催。現地視察を実施した。					検討委員会を1回開催し、各委員との情報共有を図ることができた。					
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である	高速道路利用者への休憩施設及び地域振興の拠点となる施設として地域の活性化を図る。				A:有効である	道の駅を設置することで地域の活性化が図れる。		B:やや効率的である	施設整備については、国の補助制度を活用する。	
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	B:実現に向けて取り組んでいる	ホームページで公表を行っている。				B:実現に向けて取り組んでいる	検討委員会		その他	現時点では、協働まで至っていない。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点										
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	庁内の関係課及び外部の関係者を交えた検討委員会を開催し、情報共有を図ることができた。次年度へは予算措置がされていないので、今後、どのように進めていくのが課題である。										
企画政策課での評価とその理由											
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	設置要綱の制定及び検討委員会の開催等、当初の目標は達成しており一定の成果が認められる。引き続き、関係者との連携を密にし、計画的に事業を推進するものとする。										
政策調整会議での評価とその理由											
庁議における方針											

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定					令和元年度成果指標(アウトカム)の設定				
	道の駅設置に向けた課題の洗い出しを行う。					道の駅設置の課題の洗い出しの項目。				
令和元年度における具体的な目標					令和元年度における事務事業スケジュール					
市庁内の関係課(防災対策課、企画政策課、農政課、商工観光課、都市計画課、土木建設課)でそれぞれの分野からの課題・問題点の洗い出しを行う。					10月:農業、商工、観光などの分野から考えられる茂原市にふさわしい道の駅についての意見交換 12月:農業、商工、観光などの分野から考えられる課題・問題点の洗い出し					

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	01	02	01	景観計画推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	09	景観推進事務費

実施計画整理番号	
401020101	
総合戦略整理番号	32303

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	茂原市の景観が、憩い、安らぎ、趣きがあり、ふるさと景観として愛着が持てるようにめざす。	・景観資源52箇所の存在を市民に広めるなど、身近な資源に対する関心を高めてもらえるよう、案内看板の設置等を積極的に行う。 ・景観資源に選ばれた公共施設が、市民等に喜ばれ、愛されるよう、目に見えるかたちで整備を行う。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
・景観資源案内看板を1基設置 ・「茂原市わが街ガイド」の積極的な周知 ・第4次都市計画マスタープラン推進市民会議報告書の発行	・市民との協働による良好な景観資源の周知 ・都市計画マスタープラン推進市民会議の第4次から第5次への円滑な移行	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	417	417	400	707	710	495	324	0	0	330	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	417	417	400	707	710	495	324	0	0	330	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	景観資源の広報活動	707	710	495	概ね達成できた。引き続き広報活動していく。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		707	710	495	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・市内の景観資源の啓発のため、案内看板1カ所設置に設置した。(茂原公園) ・都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で「モバス」を利用し、景観資源を巡るバスツアーを実施した。

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	401020101
4	01	02	01	景観計画推進事業	7	03	01	09	景観推進事務費	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・公開型GIS「茂原市わが街ガイド」による景観資源の情報発信に努めた ・景観資源案内看板を1基設置 ・市民会議と協働で景観資源を巡るバスツアーを実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数は117回/年 ・景観資源看板を1カ所設置(全52カ所のうち、設置済み計7カ所) 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	美しい茂原の景観の周知に努めた。	A:有効である	景観資源の発信により、来訪者の活気や、市民の愛着心の向上の一助となる。	B:やや効率的である	景観資源案内看板の1基当り約15万円のコストを要する。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	景観資源案内看板を順次設置。また、わがまちガイドにて、景観資源の情報を発信している。	A:実現している	茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議において、意見や提言を汲んでいる。	A:実現している	茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と協働でバスツアーを企画し、景観資源の周知に取り組んでいる。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市内52カ所の景観資源を周知するため、景観資源案内看板を順次設置しており、1カ所設置したことで計7カ所設置となった。また、都市計画マスタープラン推進市民会議と協働で景観資源を巡るバスツアー実施し好評を得た。						
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	看板設置やバスツアーの実施など、景観資源の周知に一定の成果があったものと認められる。引き続き、「茂原市わが街ガイド」の活用に努めるなど、更なる周知を図るものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源案内看板の設置 ・GISを活用した景観資源の情報発信 				<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源案内看板の設置数 ・茂原市わがまちガイドの景観資源の閲覧回数 			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源案内看板を2基設置 ・茂原市わがまちガイドの周知 				<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン推進市民会議と協働による景観資源の周知 ・令和2年度に実施予定の第2回景観資源バスツアーの準備 				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	02	01	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

実施計画整理番号	
402010101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	土地区画整理事業施行中の茂原駅前通り地区については、中心市街地としての商業・業務環境および住環境の整備を継続的に進めるとともに、集客力のある複合施設等商業核施設の事業化に向けて調査・研究を進めます。	・道路整備により、交通の利便性を向上させ、消防活動を容易とする。 ・地域の活性化および宅地の利用増進を図る。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
限られた予算の中で都市計画道路「高師町下井戸線」の整備を進めると共に都市計画道路「おりひめ線」沿いの建物移転を実施し、事業の推進を図る	①建物移転、道路築造工事の実施 ②まちづくり推進協議会の会議開催	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	114,505	143,578	54,997	189,200	322,933	126,605	420,893	0	0	137,574	0	0	
財源内訳	国補助	千円	20,140	20,140	24,145	87,875	123,765	43,695	194,327	0	0	40,450	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	71,800	71,800	20,000	77,600	124,400	55,500	174,700	0	0	36,400	0	0
	その他	千円	904	904	974	0	944	987	904	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	21,661	50,734	9,878	23,725	73,824	26,423	50,962	0	0	60,724	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	建物移転	171,400	295,947	100,399	前年度からの繰越2件の他、1件の建物移転補償を実施した。また、3件の補償契約を締結し繰越した。今後も継続して取組む必要がある。
②	道路工事	15,000	22,086	21,978	前年度からの未契約繰越工事1箇所その他、2件の道路工事を実施した。今後も継続して取組む必要がある。
③	整地工事	2,800	4,900	4,228	整地工事6件、公共汚水樹設置工事3件、公共汚水樹撤去工事を1件実施した。今後も継続して取組む必要がある。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		189,200	322,933	126,605	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
①建物移転補償を繰越分を含み6件実施(3件契約繰越) ②未契約繰越分の道路築造工事(高師町下井戸線暫定)を1箇所実施、高師町下井戸線及び区画道路8-5の工事を2箇所実施 ③整地工事を6件、公共汚水樹設置工事を3件、公共汚水樹撤去工事を1箇所実施

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	402010101
4	02	01	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業	7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	①建物移転補償は、繰越分2件、現年分1件を実施し、現年分2件を契約繰越 ②道路築造工事は、未契約繰越分1箇所、現年分2箇所を実施 ③まちづくり推進協議会の活動として、役員会、幹事会、勉強会、雑談会を開催				事業進捗率38.98% (1.88%上昇)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	中心市街地としてふさわしい秩序ある市街地整備を図るため、公共事業にて施行する必要がある	B:やや有効である	26年を経過した現在で、事業進捗率が38.98%であり、事業の長期化が危惧される	A:効率的である	国の補助制度を活用している		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる	ホームページでの公表「区画整理だより」の発行	A:実現している	まちづくり推進協議会会議	B:実現に向けて取り組んでいる	勉強会にて共同化事業の検討、核施設予定地の活用方法を検討		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	本事業は、施工面積10.7ha、総事業費160億円、施工期間は、平成4年度から令和13年度であり、平成5年3月に事業計画決定すると共に事業着手し、平成7年度から早期完成を目指し事業推進に努めてきた。事業の進捗率は、26年を経過した現在、総事業費に対し、38.98%の進捗状況であり、事業の遅延・長期化が懸念される状況である。また、地権者から事業が遅延・長期化している状況に対しての不満等も多いことから、早期完成・中心市街地の活性化を目指した事業展開を図る必要がある。						
	企画政策課での評価とその理由							
	C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	中心市街地としてふさわしい市街地整備に資する取り組みとして認められるが、既に開始から26年経過して事業進捗率が38.98%と、事業の遅延・長期化が懸念されるため、事業の着実な進捗に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	①建物移転補償18件(4棟)の実施(繰越3件2棟含む) ②道路築造工事2箇所の実施 ③共同利用化検討調査業務委託の実施 ④まちづくり推進協議会の会議開催				事業進捗率41.62% (平成30年度 進捗率38.98%)			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
①建物移転、道路築造工事の実施 ②建物の共同化を検討し、地権者の合意形成を図る ③まちづくり推進協議会の会議開催				限られた予算の中で、都市計画道路「高師町下井戸線」の整備を進めると共に、都市計画道路「おりひめ線」沿いで建物の共同化の検討や建物移転を実施するなど、事業の推進を図る				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
4	02	01	03
実施計画事業名			
本納駅東地区まちづくり整備事業			

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	1	4	2	交通安全施設整備事業

実施計画整理番号	
402010302	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	<p>本納駅周辺については、準用河川乗川、都市計画道路本納駅東口線等の公共施設整備と併せて、地区計画を定め、防災性と安全性を備えた良好な住環境の形成と圏央道の効果を受け止め商業施設等の立地を誘導し、利便性と魅力ある都市環境を図り、茂原市の北の玄関口に相応しい地区とすることを目標とする。</p>	<p>地区計画内の道路事業用地の取得及び支障物件の移転補償、道路改良工事の設計、工事、施工管理を実施する。</p>
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
<p>新たに整備区間に加えた中曽根踏切からほのおか館までの調査を実施すると共に、予備設計を行った橋梁の詳細設計を行う。 また、残る事業用地の取得についても地権者と交渉を行う。 なお、H30より交通安全施設等整備事業に切替え、補助金(交付金)を活用し整備を行っていく。</p>	<p>新たに加えた区間の調査や橋梁実施設計を上半期に発注する。 事業用地取得については、上記の調査等が終了後、線形等が決定した段階で交渉を行っていく。</p>	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	8,000	7,830	7,782	31,000	45,309	36,277	0	0	0	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	19,324	19,952	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	7,200	7,200	7,000	27,900	19,200	14,600	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	800	630	782	3,100	6,785	1,725	0	0	0	0	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	地区計画道路の整備	31,000	45,309	36,277	<p>役務費、委託料、公有財産購入費を繰越明許した。 今後も継続して事業を進める。</p>
	②		0	0	0	
	③		0	0	0	
	④		0	0	0	
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0		
事業費計			31,000	45,309	36,277	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

地区計画道路の整備・・・路線測量、橋梁・道路設計。 役務費、委託料、公有財産購入費を繰越明許した。

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				予算科目				整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名				402010302
4	02	01	03	本納駅東地区まちづくり整備事業				
款	項	目	事	事業名				
7	1	4	2	交通安全施設整備事業				

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	路線測量、道路詳細設計、橋梁詳細設計をおこなった。				工事未着手			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	本納駅東地区地区計画による道路整備であり、茂原市が関与すべき事業。道路利用者が安全・安心に利用出来るような整備を行う。	A:有効である	地元主体のまちづくり計画であり、防災性と利便性を兼ねた道路網整備の中に位置付けられた路線である。	B:やや効率的である	用地取得や橋梁の架け替え等々に多大な時間とコストが必要となる。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会回覧を行い、進捗状況などの報告を実施している。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元説明会や自治会等を通じた意見徴収。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元主体のまちづくり計画であり、その中の道路整備について関係者への協力依頼を行っている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	予算計上されていた案件については、必要な調査委託等を実施した。役務費、委託料、公有財産購入費を繰越明許した。						
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	必要な調査委託等が実施されており、一定の成果が認められる。着実に事業の進捗を図るものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	交通安全事業に切替え、補助金を活用し事業の進捗を図る。				整備率			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
3-2076...用地買収を進める。				3-2076...用地を買収する。				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	01	01	(仮称)茂原・長柄スマートIC設置事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	03	(仮称)茂原長柄スマートIC設置事業

実施計画整理番号	
403010101	
総合戦略整理番号	43201

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	圏央道を有効利用するために、(主)千葉・茂原線にスマートIC(ETC車専用)を設置し、市民及び道路利用者の利便性の向上、また、企業立地や生産活動の活性化を図る。	(仮称)茂原長柄スマートインターチェンジ実施計画書に基づき施行する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	道路用地取得を完了するとともに、早期に道路改良工事を実施し、事業促進に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 道路用地取得の完了 道路改良工事の実施

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	267,834	312,624	227,679	175,880	165,026	156,294	284,859	0	0	15,120	0	0	
財源内訳	国補助	千円	126,447	126,447	106,128	85,940	48,750	79,706	149,250	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	55,000	55,000	49,200	38,400	27,900	33,000	61,600	0	0	8,600	0	0
	その他	千円	67,300	67,300	59,144	42,720	28,547	37,493	65,057	0	0	2,000	0	0
	一般財源	千円	19,087	63,877	13,207	8,820	59,829	6,095	8,952	0	0	4,520	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	スマートICの設置	175,880	165,026	156,294	概ね目標は達成され、今後も継続して取組む必要がある。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		175,880	165,026	156,294	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
道路改良工事を11件実施 道路用地を2件取得 埋蔵文化財調査(報告書作成)を実施 物件移転補償を5件実施

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	403010101
4	03	01	01	(仮称)茂原・長柄スマートIC設置事業	7	01	03	03	(仮称)茂原長柄スマートIC設置事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	道路用地を2件取得し、完了した 道路改良工事を11件実施した				用地取得率 100% 工事執行率 72,802千円(支出済額)/80,727千円(予算現額)=90.18%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	市民及び道路利用者の利便性の向上を図るため、公共事業にて施行する必要がある。	A:有効である	スマートICを設置することで、利便性の向上及び、企業立地や生産活動の活性化が図れる。	B:やや効率的である	今後も国の補助制度を活用するとともに、コスト削減が図れるよう努める必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	ホームページでの公表 地元説明会	A:実現している	地区協議会	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会等と協議をおこなっている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	難航していた用地交渉が完結出来、用地取得が完了した。工事に関しては、県や占有者との協議に日数を要したことで、1件を繰越としたが、成果は挙げられたと認められる。 令和元年度中の開通を少しでも早められるよう関係機関と連携を図り、事業推進に努める。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	用地取得が完了し、工事執行率も大幅に上昇したことから、成果を挙げたものと認められる。今後は、早期開通に向け、関係機関と連携を図り、事業の推進に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事の実施 ・茂原長柄スマートインターチェンジの早期開通 				<ul style="list-style-type: none"> ・工事執行率 			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事を早期に実施し、東日本高速道路(株)や千葉県、長柄町と連携を図り、茂原長柄スマートインターチェンジの早期開通が出来るよう事業推進に努める。 				<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事の実施 ・茂原長柄スマートインターチェンジの開通 				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	01	03	都市計画道路整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	02	01	街路事業費

実施計画整理番号	
403010301	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 都市計画道路「桑原梅田線」他1路線の事業認可区域内の道路を完成させ、市街地の交通緩和を目的とした補助幹線道路網の整備をする。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 事業認可区域内の街路事業用地を取得し、道路改良工事を実施する。
平成30年度の具体的な目標 物件調査及び不動産鑑定について早期発注に努める。用地取得に向け地権者と交渉を行う。	平成30年度スケジュール 物件調査委託、不動産鑑定等を上半期に執行する。用地取得及び建物移転補償1件を上半期に実施する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	34,285	37,519	7,920	209,620	278,199	237,801	39,118	0	0	20,000	0	0	
財源内訳	国補助	千円	18,310	18,310	3,148	115,291	14,960	14,960	19,558	0	0	10,000	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	13,300	13,300	3,500	84,800	232,500	198,700	17,600	0	0	9,000	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,675	5,909	1,272	9,529	30,739	24,141	1,960	0	0	1,000	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	桑原梅田線の整備	209,020	276,417	236,019	用地取得(2名3筆)及び物件補償(2名5件)を実施した。用地購入費及び移転補償費を繰越明許した。継続して用地交渉を実施する。
②	小林浜町線の整備	600	1,782	1,782	建物調査委託を実施した。継続して用地交渉を実施する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		209,620	278,199	237,801	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

桑原梅田線・・・桑原地区において用地取得(2名3筆 480.35㎡)、物件移転補償(2名5件)を実施した。
 小林浜町線・・・建物調査委託(1件)を実施した。

PLAN(計画)

DO(実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	01	03	都市計画道路整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	02	01	街路事業費

整理番号
403010301

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況		30年度成果指標(アウトカム)の達成状況	
	用地取得 桑原梅田線 2名3筆 480.35㎡		取得率 取得面積 桑原梅田線 8,749.07㎡ / 計画面積 15,336㎡ 57.0% 小林浜町線 2,113.75㎡ / " 3,452㎡ 61.2%	
	妥当性の評価とその理由 A:妥当である 都市計画道路として整備する事で、駅周辺の交通緩和が図れるため妥当である。認可区域には建築制限があるため、早期完成が望ましい。		有効性の評価とその理由 A:有効である 完成後には駅周辺の交通緩和が見込まれる。	
			効率性の評価とその理由 A:効率的である 用地購入にあつては不動産鑑定評価、損失補償については千葉県公共用地対策協議会の積算要領により算出しており、経費削減は望めない。	
	「情報の共有」の状況とその理由 B:実現に向けて取り組んでいる 認可事業であることから告示行為を行っている。		「参加」の状況とその理由 B:実現に向けて取り組んでいる 縦覧期間に意見聴取の機会がある。	
			「協働」の状況とその理由 その他 権利者個々の交渉となるため、個人情報保護の観点から協働に適さない。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 計画路線において用地取得の進捗が図れた。交付金対象事業であるが補助金の内示率が低く、限られた予算における事業の実施であり、用地交渉にも多大な時間を要する為、事業認可時の計画通りに実施できない状況である。			
	企画政策課での評価とその理由 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 用地取得が進捗しており、一定の成果が挙げられたものと認められる。今後も計画的に用地取得を進め、事業の着実な進捗に努めるものとする。			
	政策調整会議での評価とその理由			
	庁議における方針			

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定 用地取得	令和元年度成果指標(アウトカム)の設定 用地取得率
	令和元年度における具体的な目標 建物調査委託・測量業務委託及び設計委託について早期発注に努める。 用地取得に向け地権者と交渉を行う。	令和元年度における事務事業スケジュール 建物調査委託・測量業務委託及び設計委託を上半期に執行する。 用地取得及び建物移転補償を上半期に実施する。

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	03	01	バス運行対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	11	バス運行対策事業

実施計画整理番号	
403030101	
総合戦略整理番号	43101

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	運行維持が困難となったバス路線について、学生や高齢者などの交通弱者及び通勤利用者の交通手段を確保する。	運行するバス事業者に補助金を交付し、路線バスの運行を維持する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 住民の交通手段の確保・維持 利用者数の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度にバス事業者と関係市町村で協議し定めた負担割合等に基づき補助金の交付を行う。 	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	4,988	4,988	4,803	4,988	3,803	3,803	3,803	0	0	3,803	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,988	4,988	4,803	4,988	3,803	3,803	3,803	0	0	3,803	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	路線バス運行維持支援	4,988	3,803	3,803	<ul style="list-style-type: none"> 補助金を交付し、路線バスの運行維持を図った。 今後も支援を行う。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		4,988	3,803	3,803	

<p>平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線バスの運行を維持するため、3,803,000円の補助金を交付した。(茂原白里線 1,880,000円、本納白子線 1,079,000円、茂原駅陸沢中央公民館線 844,000円)
--

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	403030101
4	03	03	01	バス運行対策事業	7	03	01	11	バス運行対策事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・補助金の交付額 3,803,000円 ・補助金の交付対象路線数 3路線				利用者数(路線全体) ・茂原白里線 14,652人 ・本納白子線 13,388人 ・茂原駅陸沢中央公民館線 36,662人			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	住民の交通手段の確保のため必要である。	A:有効である	補助金の交付により、廃止予定であった路線の維持が図れる。	B:やや効率的である		必要な施策であるが、特定の地域の施策となっている。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	バス事業者と関係市町村とが協議し、お互いの負担割合等を定めている。	A:実現している	バス事業者と関係市町村とが協議し負担割合等を定めている。	B:実現に向けて取り組んでいる		市町村が支援や広報等で協力し、バス事業者は、鋭意努力する。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該事業については、計画通り執行され、目的とする路線の確保が図られた。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初の計画通り執行され、住民の交通手段の確保・維持に成果があったものと認められる。引き続き、バス事業者や関係町村と協議し、市民の交通手段の確保に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

A C T (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	・補助金の交付額 ・補助金の交付対象路線数				・利用者数			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
・住民の交通手段の確保・維持 ・利用者数の確保				・平成29年度にバス事業者と関係市町村で協議し定めた負担割合等に基づき補助金の交付を行う。				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	03	01	高速バス実証運行事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	11	地域公共交通事業

実施計画整理番号	
403030102	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
<p>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</p> <p>本事業は、圏央道の利活用による利便性の向上を図るため、関係市町の広域連携により、茂原・木更津区間において木更津金田バスターミナル(以下「木更津金田BT」という。)を経由する新たな路線の実証運行及び調査を行い、高速バス路線の拡充に寄与することで、地域住民の交通の利便性向上を目指すことを目的とする。</p>	<p>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</p> <p>・茂原駅から三井アウトレットパーク木更津までの高速バスの実証運行 ・利用者のアンケート調査</p>
<p>PLAN (計画)</p>	
平成30年度の具体的な目標	
<p>運行事業者独自で継続可能な新たな高速バス路線を目指す。</p>	<p>平成30年度スケジュール</p> <p>4月 協定書の締結(木更津市・長南町・茂原市・小湊鉄道株) 事業概要をプレスリリース PRチラシの作成</p> <p>5月 広報掲載 PRチラシの配布 運行業務委託(アンケート調査を含む) ・5月19日から11月11日までの土日のみ計52日を実証運行</p> <p>11月 実証運行終了(※継続可能な場合、事業者による運行開始)</p>

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	3,539	3,537	0	0	0	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	2,033	1,311	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	1,506	2,226	0	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	高速バス実証運行	0	3,539	3,537	計画通りに運行を実施した。結果として延べ1,185人の利用者があった。利用者が少なかったことから、継続せずに新たな路線の検討を行う。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	3,539	3,537	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・高速バスの運行委託(小湊鉄道株)1日3往復(広域連携により1日6往復) ・木更津市、長南町、茂原市の広域連携により実施(茂原市・木更津市で運行委託、長南町は一部負担金) ・利用者のアンケート調査を実施 ・PRチラシ(33,000枚)及びポスター(35枚)の作成及び配布

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目				整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	403030102
4	03	03	01	高速バス実証運行事業	7	03	01	11	地域公共交通事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・1日6往復12便運行(※本市委託分3往復6便)土日のみ計52日 ・利用者アンケート調査の実施				・利用者数 1,185人(1日平均22.8人)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	B:ほぼ妥当である 一時的に高速バス路線の拡充を図ることができ、地域住民の交通の利便性向上を図れた。広域連携及び官民共同による事業として実施できた。		C:あまり有効ではない 利用者アンケートでは、本格運行の利用希望が多かったが、全体の利用者が少なく、継続路線としてバス事業者単独での実施は難しい結果となった。		C:あまり効率的ではない 観光などの目的で茂原に来る利用者が少なく、特定の便に利用が限られた。金田BTでの乗継利用が少なかった。			
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している アンケート調査結果など公表している。		A:実現している 利用者に対して、アンケート調査を実施した。		A:実現している 利用実績だけでなく、利用者のアンケート調査結果などから分析・評価を行った。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)		本市にとって初めての試みとなったが、潜在需要の把握が難しい中、広域連携で官民共同による事業が実施できた。土日のみの運行であったが、利用者は想定よりも少ない結果となり、バス事業者による本格運行は困難となった。しかし、渋滞が発生した場合の乗継利用の難しさや高速バスが往復運行となることから本市を目的地とする利用者の確保などが課題となることが分かった。					
	企画政策課での評価とその理由							
	C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)		今回の調査の結果を基に、地域住民の交通の利便性向上を目指し、新たな手法を検討するものとする。					
政策調整会議での評価とその理由								
(この欄は斜線が入ります)								
庁議における方針								
(この欄は斜線が入ります)								

A C T (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	・新たな高速バス路線の検討 ・バス事業者との協議				・新たな高速バス路線の検討結果			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
・複数のバス事業者と協議し、新たな高速バス路線の可能性を見出す				・年度内に複数のバス事業者と協議				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
4	03	03	02
地域公共交通運行事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	03	01	11
地域公共交通運行事業			

実施計画整理番号	
403030201	
総合戦略整理番号	43101

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	交通空白地域の解消及び高齢者等の交通弱者の生活交通手段を確保する。	市民バス(定時定路線型)及び指定エリアにおけるデマンド交通(区域運行型乗合タクシー)による運行を実施する。また、茂原市地域公共交通会議を開催し、地域に即した輸送サービスの実現に向け関係事業者等と協議する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
市民バスの利用者数の増 デマンド交通登録者数と利用者数の増 運賃収入以外の収入確保(有料広告)	市民バス運行委託(長期継続契約)及びデマンド交通運行委託(随意契約)<4月>、デマンド交通運行委託(10月以降)の指名競争入札<5月>、地域公共交通会議(回数券の導入等)の開催<6月、12月>	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	25,808	25,808	24,494	25,808	25,691	25,016	25,822	0	0	26,267	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	9,790	9,790	9,269	9,790	9,078	9,637	9,640	0	0	9,640	0	0
	一般財源	千円	16,018	16,018	15,225	16,018	16,613	15,379	16,182	0	0	16,627	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	地域公共交通会議の運営	357	245	106	2回開催(6月、12月)
②	市民バスの運行	22,082	21,622	21,552	利用者数20,922人(前年比5.1%増)
③	デマンド交通の運行	3,369	3,824	3,358	利用者数1,808人(前年比52.2%増) 登録者数662人(前年比8%増)
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		25,808	25,691	25,016	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 市民バスの委託による運行(小湊鉄道株式会社) デマンド交通の委託による運行(都自動車株式会社) 市民バス・デマンド交通共通回数乗車券の導入(販売価格1,000円(100円券・11枚)、2,000円(200円券・11枚)) 地域公共交通会議の開催(「旬の里 ねぎぼうず」を乗降場所に追加) 運賃収入以外の収入確保(有料広告・事業者4社)

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	403030201
4	03	03	02	地域公共交通運行事業	7	03	01	11	地域公共交通運行事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況					30年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	・市民バス: 東部コース5.5便/日、北部、南部(五郷)各4便/日、南部(鶴枝)の4.5便/日※平日毎日 年間延4,392便(244日)・デマンド交通: 8便/日(月・水・金) 年間延1,152便(144日)・地域公共交通会議2回開催(6月、12月)・交通マップの配布・広報2回(6月、9月)・説明会2回(7月、1月)					・市民バス「モバス」及びデマンド交通「ふれあい」を運行計画に基づき運行し、加えて、デマンド交通の乗降場所1箇所追加と、市民バス・デマンド交通の共通回数乗車券の販売を10月から開始した。 ・市民バスの利用者数は20,922人(前年比5.1%増)、デマンド交通利用者数は1,808人(前年比52.2%増)であった。 ・有料広告による運賃収入以外の収入について確保(4社)を図った。				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A: 妥当である	交通空白地域の解消及び交通弱者の交通手段の確保を目的とした事業であるため	A: 有効である	交通空白地域における高齢者等の交通弱者の交通手段として利用されているため	B: やや効率的である	運行計画の見直し時に効率化を図っている。利用者も増えてきている。				
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A: 実現している	HP上に情報を掲載している。交通マップを配布し、「わが街ガイド」でも情報を公開している。	A: 実現している	交通事業者や市民等で組織された地域公共交通会議で連絡調整を行っている。	B: 実現に向けて取り組んでいる	市民、交通事業者、行政で協働の理念のもと、各々の役割を担うことで、持続可能な公共交通体系の構築を目指す。				
所管による評価とその理由、課題・問題点										
B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	市民バスについては、年間延20,922人、デマンド交通については、年間延約1,808人の利用者があり、ある程度の成果をあげている。利用者数は、昨年度と比較し増加傾向にあるが、1日当たり110人の目標値には達していない。									
企画政策課での評価とその理由										
B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	回数券を導入するなど利用者の利便性向上を図っており、利用者も年々増加していることから、一定の成果があったものと認められる。引き続き、目標値を達成すべく、利用者増の方策を検討するものとする。									
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定					令和元年度成果指標(アウトカム)の設定				
	市民バス、デマンド交通の運行本数 地域公共交通会議の開催 PR回数					市民バスとデマンド交通の運行管理 市民バスの利用者数 デマンド交通登録者数と利用者数 運賃収入以外の収入確保(有料広告)				
令和元年度における具体的な目標					令和元年度における事務事業スケジュール					
市民バスの利用者数の増 デマンド交通登録者数と利用者数の増 運賃収入以外の収入確保(有料広告)					市民バス運行委託(長期継続契約)及びデマンド交通運行委託(随意契約)<4月>、デマンド交通運行委託(10月以降)の指名競争入札<5月>、地域公共交通会議の開催<6月、12月>					

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	04	01	02	住宅用省エネルギー設備等設置促進

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	04	住宅用省エネルギー設備等促進事業

実施計画整理番号	
404010201	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	住宅用省エネルギー設備等の設置を奨励し、地球温暖化防止の意識を高めることにより、市内における二酸化炭素の排出量を削減する。	市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に対し、千葉県の補助基準の範囲内で補助金を交付する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	住宅用太陽光発電設備30件、太陽熱利用システム3件、地中熱利用システム1件、家庭用燃料電池システム15件、定置用リチウムイオン蓄電システム15件程度の補助を実施し、家庭におけるエネルギーの安定的な供給並びにエネルギー利用の効率化を図る。	4～3月 住宅用省エネルギー設備等補助金受付

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	8,450	7,649	3,251	8,450	7,450	7,143	7,550	0	0	7,550	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	6,950	6,149	3,051	6,950	5,950	5,643	6,050	0	0	6,050	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	1,500	1,500	200	1,500	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	1,500	1,500	1,500	0	0	1,500	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	住宅用省エネルギー設備の設置促進	8,450	7,450	7,143	概ね達成できた。引き続き実施する。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		8,450	7,450	7,143	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
平成30年度住宅用省エネルギー設備等補助内訳 住宅用太陽光発電設備 22件 1,943,000円 太陽熱利用システム 0件 地中熱利用システム 0件 家庭用燃料電池システム 15件 2,700,000円 定置用リチウムイオン蓄電システム 25件 2,500,000円

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	04	01	02	住宅用省エネルギー設備等設置促進

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	04	住宅用省エネルギー設備等促進事業

整理番号
404010201

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況		30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	平成30年度住宅用省エネルギー設備等補助内訳 住宅用太陽光発電設備 22件 1,943,000円 太陽熱利用システム 0件 地中熱利用システム 0件 家庭用燃料電池システム 15件 2,700,000円 定置用リチウムイオン蓄電システム 25件 2,500,000円		排出が抑制された二酸化炭素の量 92,603kg			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に対し、千葉県の補助基準の範囲内で補助金を交付した。	A:有効である	住宅用省エネルギー設備等の設置を奨励することにより、地球温暖化の意識を高め、市内における二酸化炭素の排出量の削減を促進した。	A:効率的である	平成30年度は千葉県の補助設備に準じ設備等の見直しを行った。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	ホームページ、広報により制度の概要について周知している。	C:実現の余地がない		C:実現の余地がない	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	住宅用省エネルギー設備等の設置補助により、市内における二酸化炭素の排出量削減を促進し、一定の成果を挙げている。					
企画政策課での評価とその理由						
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	住宅用省エネルギー設備等の設置補助件数が増加しており、成果が認められる。引き続き、設備等の設置奨励により、市内における二酸化炭素の排出量の削減に努めるものとする。					
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定		令和元年度成果指標(アウトカム)の設定	
	補助件数		排出が抑制された二酸化炭素の量	
令和元年度における具体的な目標		令和元年度における事務事業スケジュール		
住宅用省エネルギー設備等の設置補助により、家庭におけるエネルギーの安定的な供給並びにエネルギー利用の効率化を図り、市内の二酸化炭素排出量の削減を図る。 太陽光発電システム30件、太陽熱利用システム3件、地中熱利用システム1件、家庭用燃料電池システム15件、定置用リチウム蓄電システム15件		4～3月 住宅用省エネルギー設備等補助金受付		